



ブラジル・アマゾンの自然と生活(1)
-マウエスの自然条件と農業的土地利用-
山下亜紀郎(筑波大)・丸山浩明(立教大)

山下亜紀郎(筑波大)・丸山浩明(立教大)
-マウエスの自然条件と農業的土地利用-
(1) 森林と自然の状況

マウエスの位置

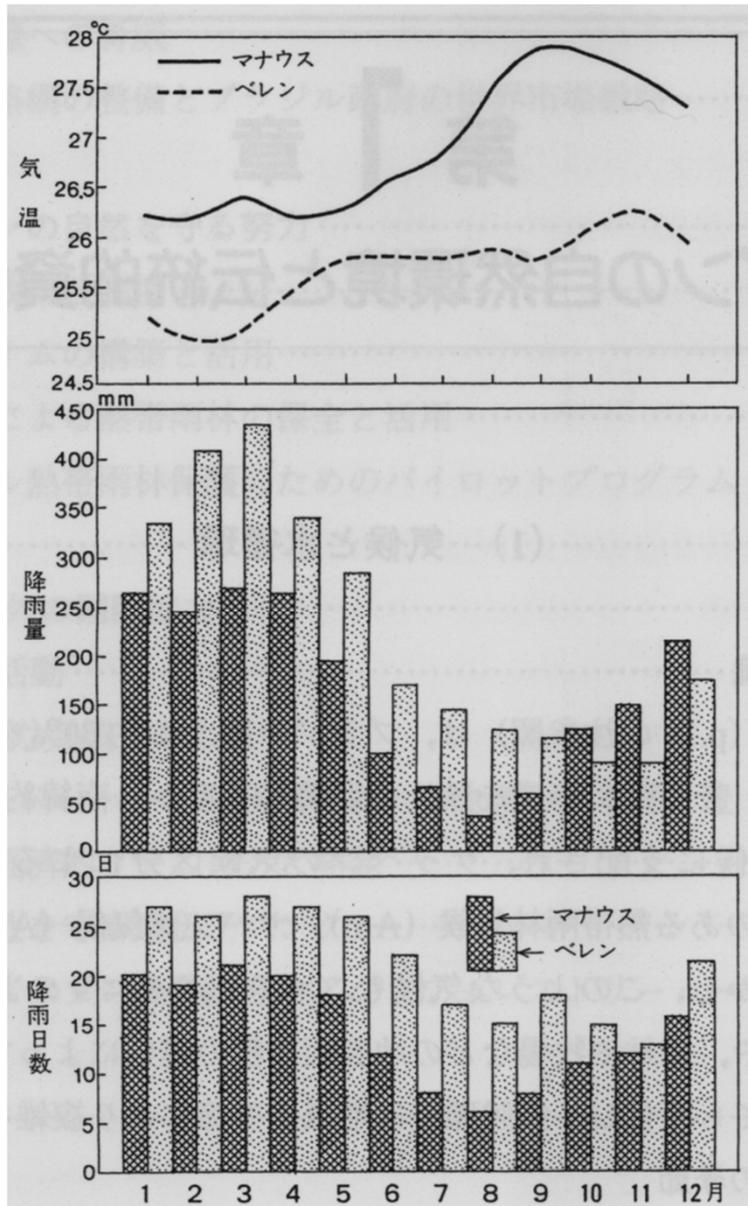




アマゾン州の主な都市の人口比較

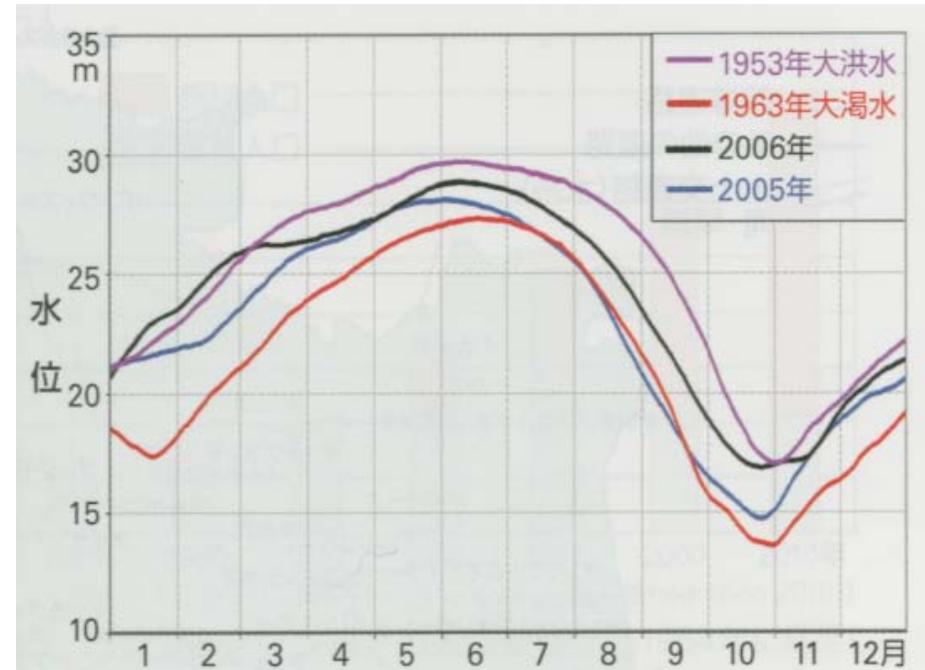
	マナウス	イタコア チアラ	パリン チンス	マウエス
人口(人) (2010年)	1,802,014	86,839	102,033	52,236
人口密度(人/km ²) (2010年)	158.06	9.77	17.14	1.31
人口増加率(%) (1980-2010)	184.5	64.2	98.6	74.0

IBGEの資料より作成



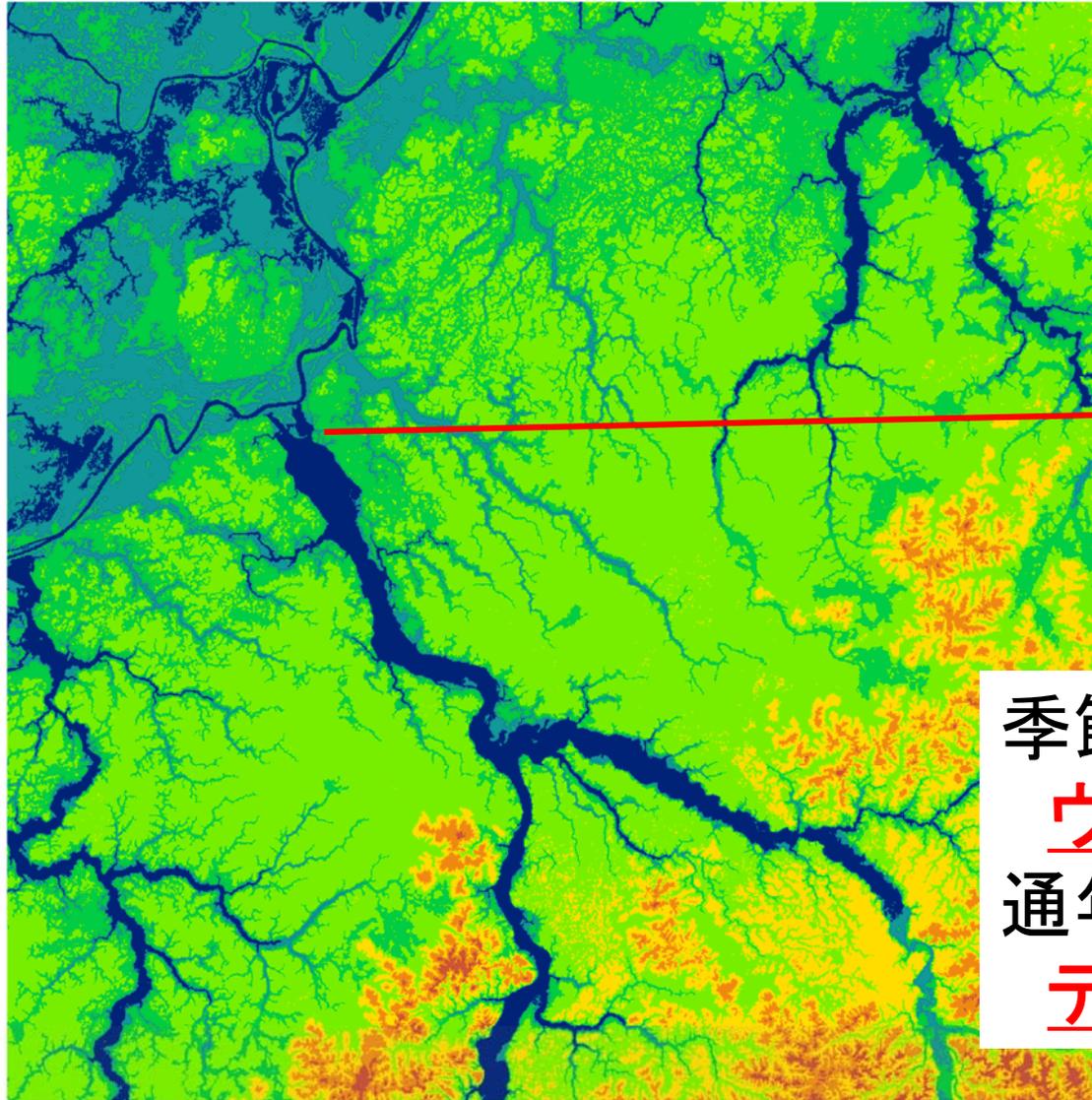
気温と降雨量の年変動

西澤ほか(2005)より引用



アマゾン川の水位の年変動

松本(2012)より引用



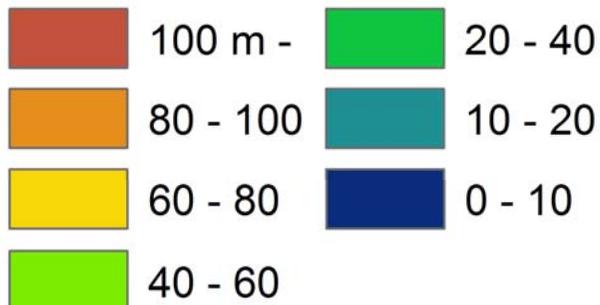
マウエス市街

季節的に浸水する低地:

ヴァルゼア

通年的に浸水しない台地:

テラフィルメ



0 5 10 20
km

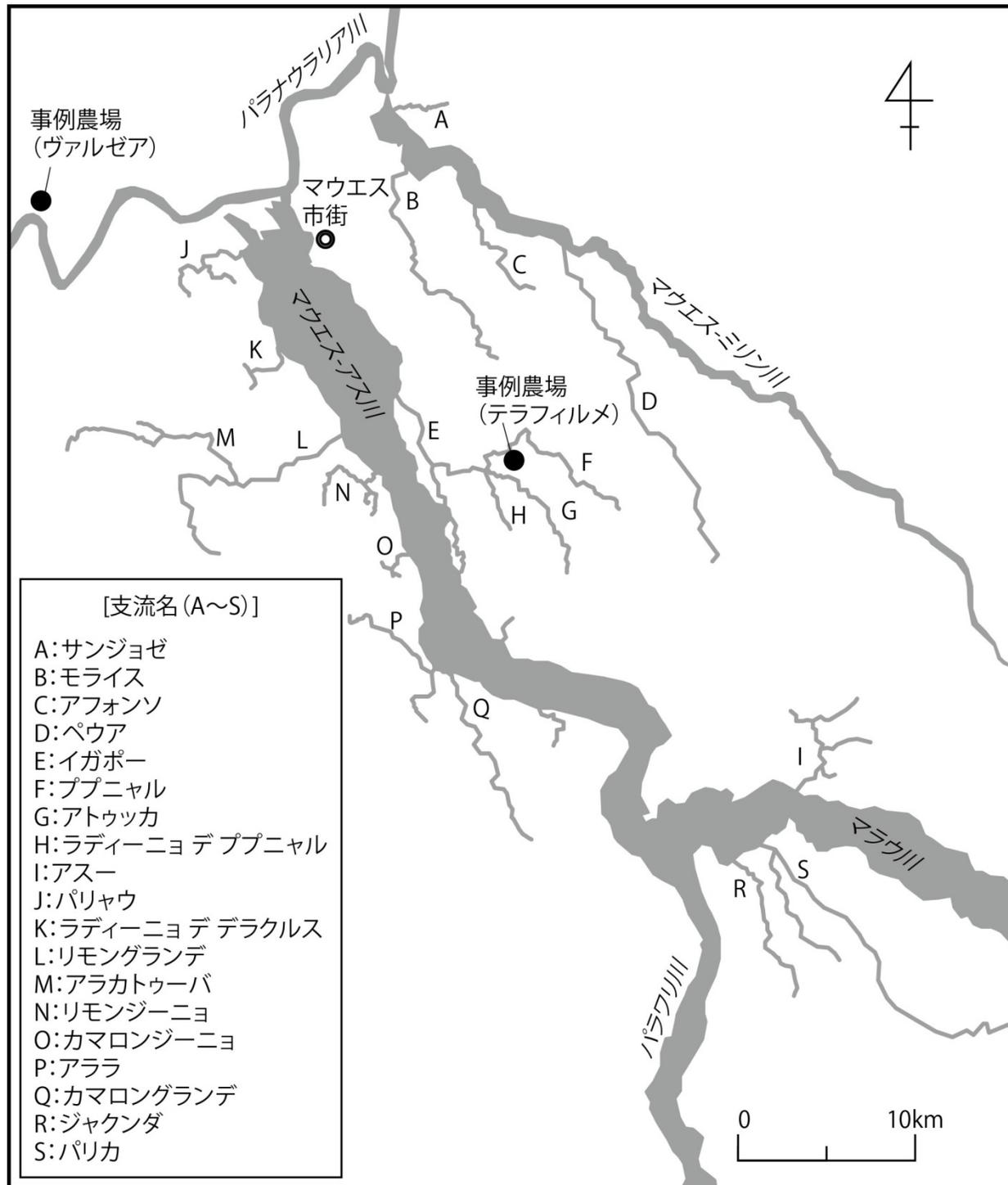
マウエス周辺地域の標高段彩図

SRTMデータより作成

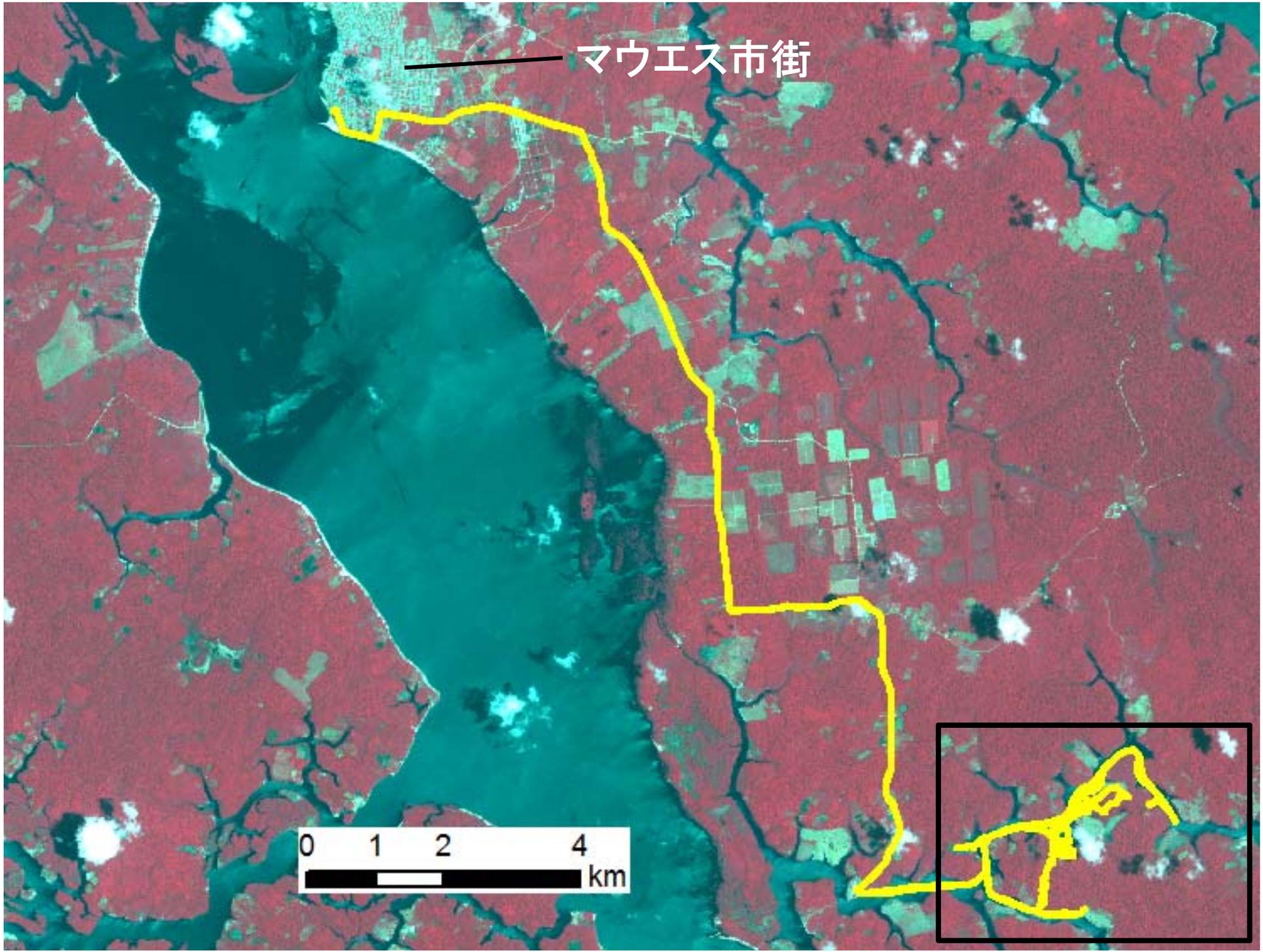
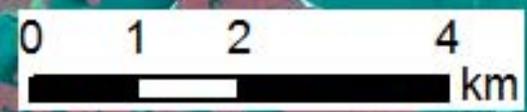


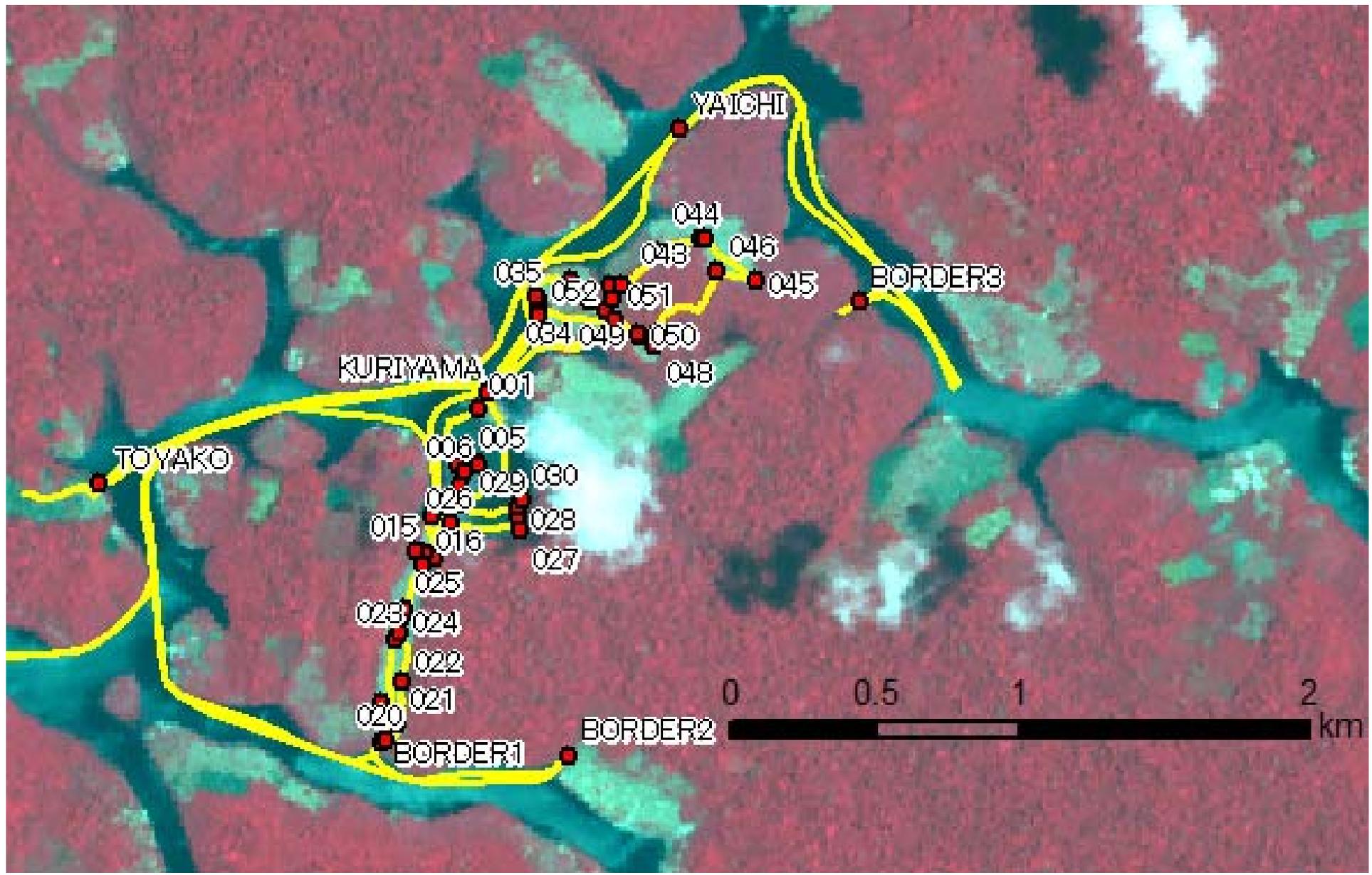


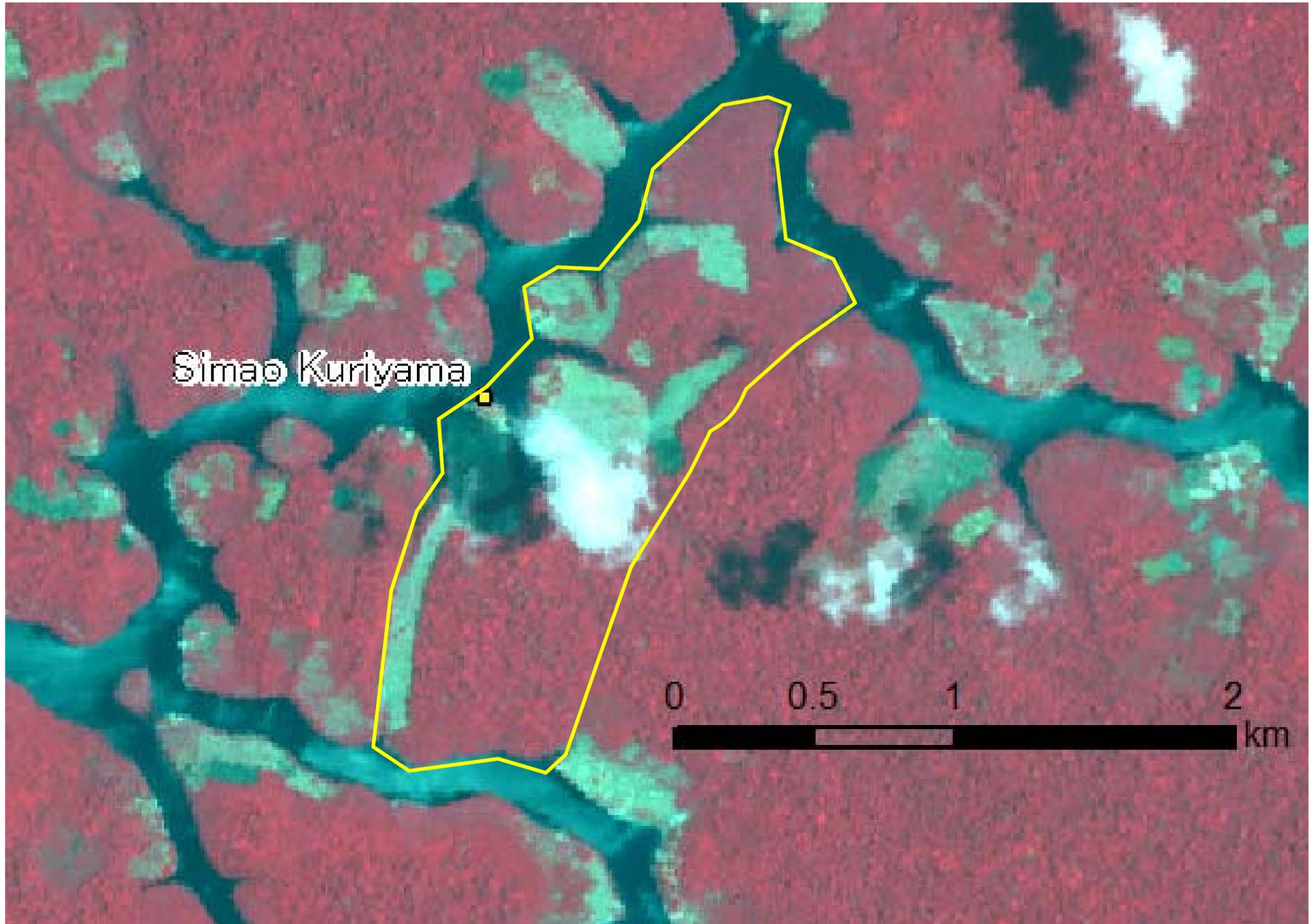


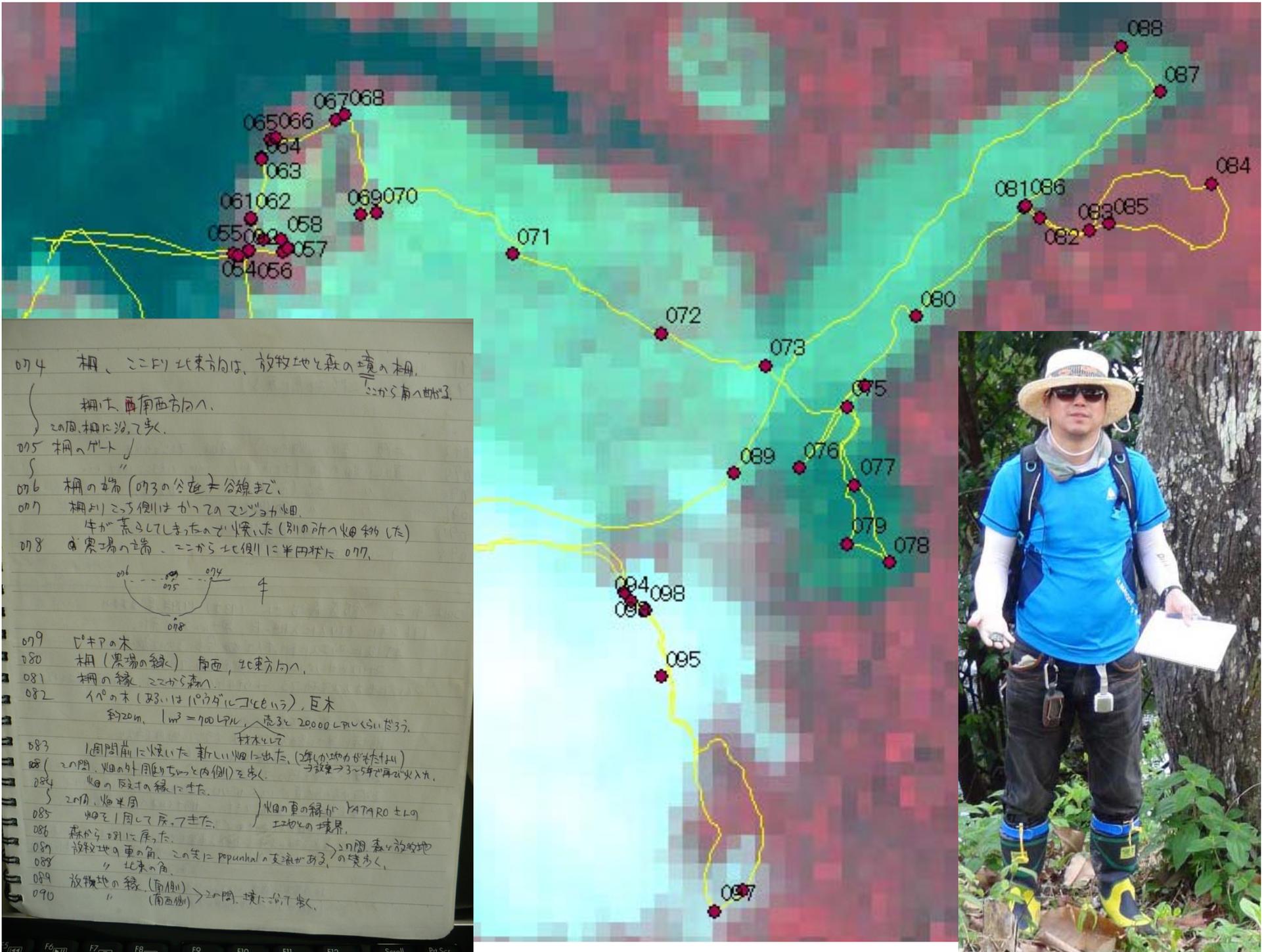


マウエス市街

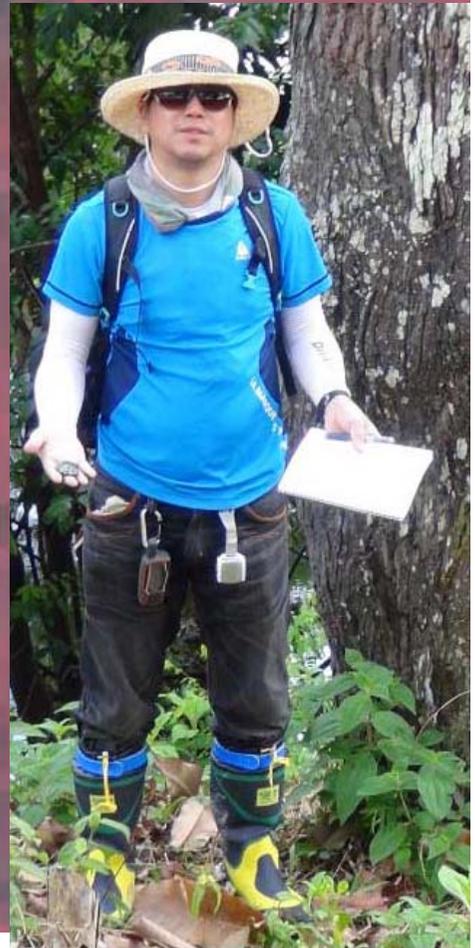






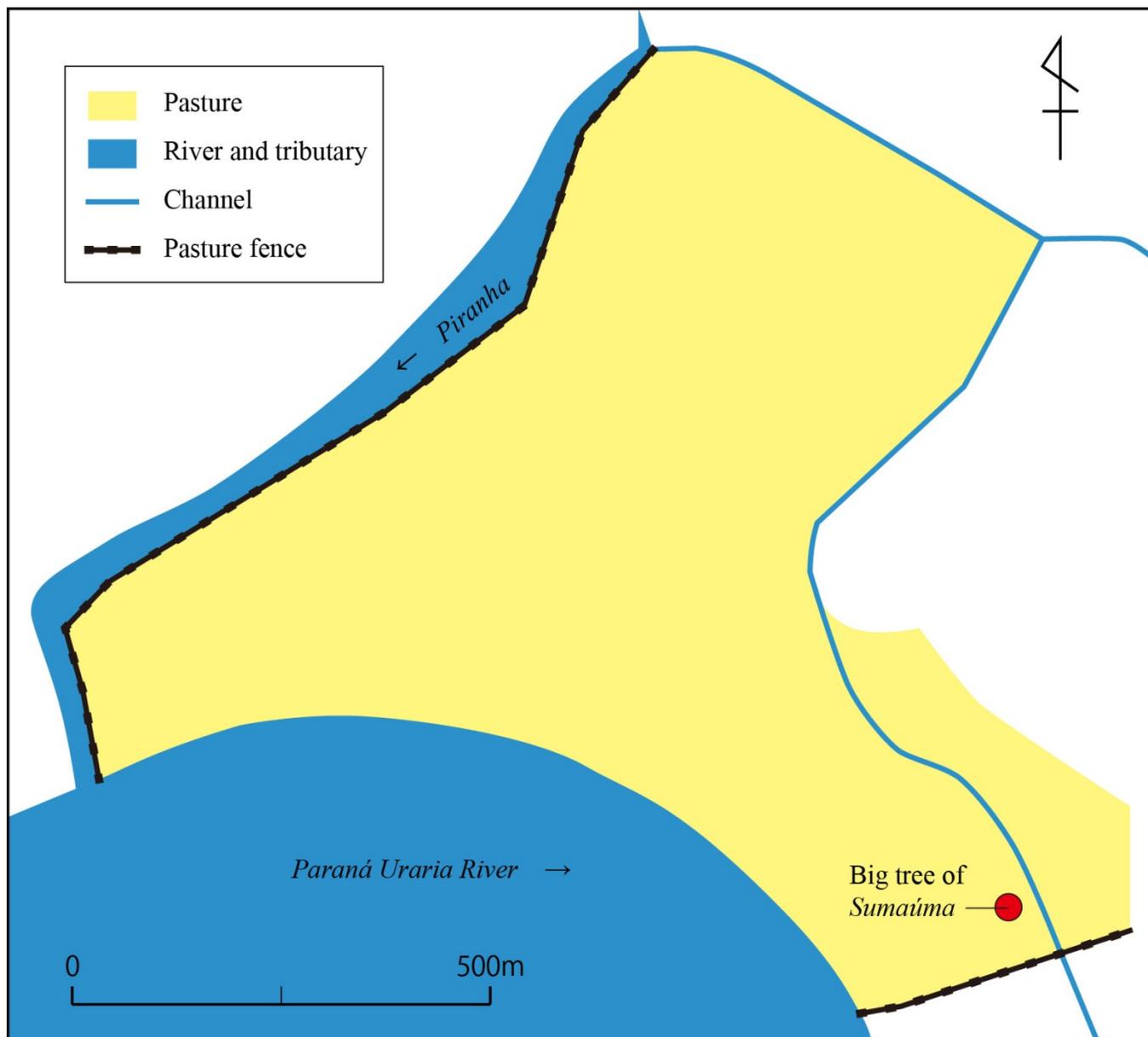


074 柵、ここより北東方向は、放牧地と森の境の柵、
 柵は南西方向へ、
 この柵に沿って歩く。
 075 柵のゲート
 076 柵の端 (073の谷を谷線まで)
 077 柵をこの側はかこのマツコト畑、
 牛が荒らしてしまったので刈った (別の所へ畑移した)
 078 農場の端、ここから北側に半円状に 077、
 079 石灰の木
 080 柵 (農場の縁) 南西、北東方向へ。
 081 柵の縁、ここから森へ。
 082 イノの木 (双いしは「Pung」に「コ」に「レ」)、巨木
 約20m、1m² = 100L、高さ2000Lに「レ」に「ダ」3つ。
 材木として
 083 1週間前に使った新しい畑に出た。(2年か3年かかたか)
 084 この畑、畑の外周の土と内側)を歩く。 → 放棄 → 3~5年で再び火入れ。
 畑の反対側の縁に土。
 085 この畑、畑半周 } 畑の裏の縁は YATARO 土の
 畑を1周して戻った。 } エコビの境界。
 086 森から列に戻った。
 087 放牧地の車の角、この角には popunkal の支流がある、この間、森の放牧地
 088 の縁は、北東の角、の縁は、
 089 放牧地の縁 (南側) → この間、境に沿って歩く。
 090 " (南西側)





事例農場(テラフィルム)の土地利用(2012年)



事例農場（ヴァルゼア）の土地利用（2012年）



乾季(10月)の衛星画像
(ALOS AVNIR2)



雨季(5月)の衛星画像
(ALOS PALSAR)



まとめ

＜マウエス周辺地域の自然条件＞

季節的には、月降水量200mm以上の雨季と、100mm以下の乾季に区分される。

それによって、アマゾン川の水位は大きく年変動する。

地形的には、季節的に浸水する低地であるヴァルゼアと、通年的に浸水しない台地であるテラフィルメに分けられる。

＜事例農場の土地所有の特徴＞

テラフィルメとヴァルゼアにそれぞれ土地を所有し、乾季には肥沃なヴァルゼアで自然放牧し、雨季になるとテラフィルメに移動させることで、水位変動に伴う環境変化に対応した牧畜を行っている。

テラフィルメの農場では、牧畜以外の畑作も行っている。